

県政報告 vol.5 相田ひでお



2月定例会 本会議での質問

誰もが・安心して・笑顔で暮らせる山形を ～5年後・10年後につながる 未来を見据えて～

山形県民の皆様、こんにちは！

いつも温かいご支援を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、2月定例会県議会では令和8年度予算等を審議し、3月18日に閉会いたしました。議員3年目となった昨年は、初めて農林水産常任委員長を務めさせていただき、多くのことを学ぶ貴重な1年間となりました。心より感謝申し上げます。今回の県政報告では、私が取り組んだ予算特別委員会と本会議での質問についてご報告いたします。

- 主な質問内容
- ①「命と生活を守る」先進的な防災・安全体制の構築
 - ②「次世代を育む」安心の子育て・教育環境の実現
 - ③「地域の宝を未来へつなぐ」持続可能な地域再生

現場の声をもとに質した内容となっておりますので、ぜひご一読いただければ幸いです。

そして、新年度からは悲願でありました教育・治安を担当する、文教公安常任委員会の副委員長を拝命いたしました。山形県の教育向上、並びに住民の安全・安心な生活を守るため、全力で取り組んでまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

山形県議会議員 **相田日出夫**



発行/令和8年6月発行
発行元/相田ひでお事務所
発行責任者/相田 日出夫

〒992-0351
山形県東置賜郡高島町
大字高島156-2

TEL.0238-33-6699
FAX.0238-33-0039

公式ホームページ

▶www.aita-hideo.jp



▶SNS各種もチェック



▶ 令和8年度 山形県一般会計予算、総額7,003億円で可決(前年度比249億円/3.7%増)

「生活経済対策・新生やまがた未来予算」として、国際情勢の不安定化や物価高騰の長期化、深刻化する人口減少・人手不足といった課題に対応するための当初予算が可決されました。これまでの歩みを大切にしながら新たな一歩を踏み出し、県民の皆様とともに山形県の明るい未来を切り開いていくための重要な予算です。ここにご報告いたします。今年度の新規取組み内容が下記のとおりです。



ぜひQRを
活用ください

新年度予算の詳細は「県民のあゆみ 5月号」に掲載

1. 県民のウェルビーイングの向上に向けた取組みの推進

- 県政150周年を記念した事業の実施
- 〔子育て支援や次代を担う子ども・若者の教育の充実〕**
 - 政府のモデル事業を活用した卵子凍結等に関する正しい知識の普及と費用の助成
 - 結婚観の醸成、出会いの機会創出や結婚に向けた社会全体での応援をパッケージで展開
 - 小・中学校における学力のデータ分析や分析結果に基づく教員の指導力向上への支援
 - 学校給食費の抜本的な負担軽減
 - 戦争の記憶継承に係る調査・検討や若い世代との連携による記憶継承のモデル事業の展開
 - 県立米沢女子短期大学の男女共学化など魅力向上に向けた取組み
 - 県立夜間中学の令和9年4月開校に向けた環境整備等
- 〔スポーツ・文化芸術の振興による交流拡大〕**
 - 山形交響楽団による地域の文化ホール等での音楽鑑賞や交流機会の創出等

2. 県内経済の持続的な成長に向けた取組みの推進

- 〔産業経済の振興・活性化〕**
 - 「年間売上100億円以上」を達成する企業の拡大に向けた支援
 - クリエイティブ産業の創出・拡大に向けた取組み
 - 医療系スタートアップの創出に向けたラボの整備や実証事業の展開
 - イノベーション創出に取り組む産学官連携拠点の設置・運営
 - 県独自の健康経営優良事業所認定制度の創設による健康経営の推進
- 〔力強い農林水産業の振興・活性化〕**
 - 衛星データを活用した農地情報の「見える化」による農地集積・集約化の促進
 - 農工連携による山形発のスマート農業機器の開発と実装を推進
 - 漁業監視調査船「月峯」の代船建造
 - 水稲新品種「ゆきまんてん」の導入に向けた種子生産体制の整備や販売流通対策
- 〔移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大〕**
 - 関係人口創出・拡大に向けた市町村との連携体制の構築及び情報発信の強化
- 〔国内外からの観光・交流人口の拡大〕**
 - 世界的観光地としてのインバウンド受入環境整備【2補含む】
 - 国立・国定公園における案内板等の多言語化など受入環境整備
 - 本県ゆかりの発信力のある方を起用したプロモーションの展開

3. 安全・安心な地域づくりに向けた取組みの推進

- 〔医療・介護・福祉提供体制の確保〕**
 - 訪問介護事業所が少ない地域における訪問介護体制整備の推進
 - 歩行訓練士の配置による視覚障がい者に対する支援体制の整備
- 〔災害対応力の強化〕**
 - 衛生的で良好な避難生活環境の確保と救援物資等輸送体制の確立【2補含む】
 - 視覚障がい者や外国人等に配慮した音声(多言語)による災害情報提供サービスの導入
- 〔災害に強い県土づくり〕**
 - 全国特別重点調査の結果を踏まえた下水道管路の改築工事の実施〔流域下水道事業会計〕

Pick up! 物価高騰への支援(主なもの)

エネルギーや食料品価格の高騰が長期化し、県民生活・事業活動に大きな影響を及ぼしていることから、生活者・事業者への支援を切れ目なく重層的に実施します。



子育て世帯・若者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 低所得のひとり親世帯への県産米提供 ● こども食堂などへの県産米提供 ● 学生に対する食の支援 	家庭向けの支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ性能の高い家電への買換え支援 ● 低所得の高齢者世帯等へのエアコン設置支援 ● 防犯用品購入キャンペーンの実施 	中小企業などへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 中小企業などにおける設備投資等への支援 ● 海外への販路拡大支援 ● 経営力強化に向けたM&A成立支援 	地域公共交通・運輸関係事業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 路線バス・トラック運送事業者への支援 ● 大型免許・二種免許取得費用への支援 ● 路線バス運転手確保等の取組みへの支援 	農林水産業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 保温性等の機能性に優れた園芸用ハウスの導入支援 ● 省エネ・省力化・省コスト化設備導入支援 ● さくらんぼの受粉用ミツバチや花粉の導入支援
---	---	---	---	---



1 保育料無償化に向けた 段階的負担軽減事業について

相田 この問題は繰り返し質問を重ねてきた重要課題である。令和7年度から0～2歳児の保育料軽減対象世帯が拡充されたが、賃金上昇により所得区分が上がり、実質の負担が増える世帯の課題や、年度途中の改定による保育料負担は制度上の課題である。「子育てするなら山形県」の実感を早期に実現するため、安定的かつ継続的な支援や財源確保を含め、県としてどのように取り組むのか。

知事 本県は国に先駆け負担軽減に着手し、今年度から対象を第5階層まで拡充したことで、対象児童は全体の約8割に達し、全国トップクラスの軽減を実現しました。議員指摘の賃金動向等による負担増の課題については、市町村や当事者の声を真摯に聴き、運用のあり方を検討します。保育料の完全無償化は本来政府が取り組むべきであり、県議会や市町村と連携し、あらゆる機会を通じて財源確保を含めた制度化を国へ強く働きかけます。今後も本事業を最優先の継続事業と位置づけ、市町村と密に連携して、誰もが支援を実感できる環境づくりに全力を尽くします。

資料 保育料無償化に向けた、段階的負担軽減事業実績

年度	対象児童数	交付金額
令和4年度 (2022年度)	約4,700人	約5億2,000万円
令和5年度 (2023年度)	約4,250人 <small>約450人減</small>	約4億8,000万円
令和6年度 (2024年度)	約5,130人 <small>約880人増</small>	約5億3,000万円
令和7年度 (2025年度)	約7,750人 <small>約2,620人増</small>	約9億1,000万円

※事務費を含まない ※令和7年度は交付決定ベース
※対象児童……令和4～6年度は第3・第4階層世帯の第1子・第2子/令和7年度は第3～第5階層世帯の第1子・第2子



2 病児・病後児保育の取組みについて

相田 共働きにとって育児と仕事の両立を支援する上で、病児保育事業は「最後のセーフティネット」として不可欠だが、一部地域での未整備や、流行期のキャンセル待ち、電話予約の負担が課題である。企業団体からの要望等も踏まえ、利便性向上のためのICT活用や、時代の変化、地域の実態に即したサービス提供体制に、県として今後どう取り組むのか。

しあわせ子育て応援部長 本県の令和7年9月時点で実施箇所数は計113箇所であり、研修等を通じて新設や拡充を促すとともに、施設整備費の助成を行っています。予約等の利便性については、一部市町でオンライン予約システムが導入されていますが、キャンセル待ちへの対応や定員の有効活用は依然として課題と認識しています。今

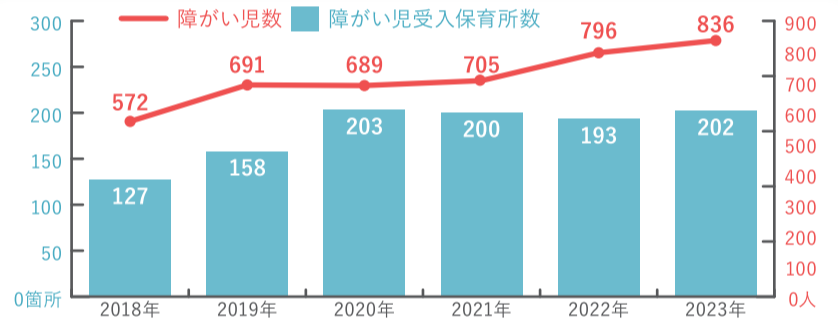
後は市町村や関係機関と一層連携し、利用者の利便性向上を図るとともに、今年3月策定の「山形県こども・子育て笑顔プラン」に基づき、企業側の意識醸成など仕事と育児を両立できる環境づくりを並行して進め、利用者へ寄り添ったサービス提供に取り組みます。

3 障がい児保育の取組みについて

相田 保育施設における特別な支援を必要とする児童の増加に伴い、加配保育士の確保など現場の負担は深刻である。国の加算額と人件費の乖離や認定までの期間が施設運営を圧迫しており、財政支援の拡充は喫緊の課題である。多様性を受け入れる保育環境を維持し、現場が安心して向き合えるよう、県として今後どう取り組むのか。

しあわせ子育て応援部長 障がいの有無に関わらず健やかに共に育つ環境づくりは重要であり、本県の障がい児受入れ数は年々増加し、令和6年度は認可保育所等の約7割に当たる212施設で921人を受け入れています。保育現場では1対1の対応を必要とする場合も多く、実態に見合う財源確保が不可欠なことから、県では政府に対し財政支援制度の拡充を強く要望しています。また、県独自に保育施設等への支援や施設改修の助成を行うほか、保育士の資質向上のための研修を実施しています。今後も現場の声を丁寧に聞き、市町村や県議会と連携して国への働きかけと受け入れ体制の充実に努め、誰一人取り残されない環境づくりに取り組みます。

資料 障がい児を受入れている保育所等数



※保育所、認定こども園(保育所型)(幼保連携型)に入室する2・3号認定の障がい児を受入れる施設数



4 緊急銃猟への対応状況について

相田 クマの市街地出没が激増する中、9月から市町村長判断で銃猟が可能となったが、事故時の補償問題への不安から猟友会の協力が得にくい現状がある。鶴岡市での対応では、警察との連携や、権限委譲等の課題が生じた。ハンターの安全・補償、中長期的な対応要員の確保といった課題に対し、県として今後どう取り組むのか。

活動報告

2025年

6月

- 置賜総合支庁高島町 重要事業要望 **写真①**
- 置賜地域県行政機関懇談会
- 高島町観光協会 第17回通常総会
- 高島ぶどう産地振興意見交換会
- 南陽地区警察官友の会懇談会
- やまがたフルーツ150周年記念式典 **写真②**
- 高島町建設クラブ定時総会
- 県議会6月定例会
- 高島機械工業クラブ通常総会
- 亀岡地区顔合わせ会 **写真③**
- 森林・林業・林産業活性化定期総会
- 砂川河川愛護会総会
- 山形県看護連盟通常総会
- 高島町水防訓練



写真①



写真②

亀岡地区顔合わせ会



写真③

7月

- 国道287号(米沢～白鷹間) 整備促進期成同盟会総会
- 最上川上流(置賜地区)改修促進期成同盟会総会
- 昭和縁結び通り振興会第34期通常総会
- 置賜広域病院企業団議会 7月臨時会 **写真④**
- 高島料理飲食振興会通常総会
- 置賜開発重要事業 知事要望
- 農林水産常任委員会 県外現地調査(栃木・群馬・長野) **写真⑤**
- 高島町経営者協会第46回通常総会
- 高島町食品工業会通常総会
- 学園都市推進協議会定時総会
- 国道399号(鳩峰街道)改良促進期成同盟会通常総会 **写真⑥**
- 第57回山形県身体障がい者福祉大会
- 高島町商会「会員の集い」
- 第38回全国ペット供養祭



写真④



写真⑤



写真⑥

環境エネルギー部長 緊急銃猟は人身被害を防ぐ有効な制度ですが、市町村からはノウハウ不足や捕獲者の確保、補償への不安等の課題が挙げられています。県では9月補正予算に訓練や保険加入、備品調達の支援経費を計上したほか、対応指針を改正し、円滑な運用を支援しています。鶴岡市の事例で浮き彫りとなった課題も市町村と共有し、改善につなげます。人材確保については、高度な技術を要する一方で高齢化が進み、市町村単独での確保が困難になることが懸念されます。このため、免許取得や用具購入への補助を通じた担い手支援に加え、県と市町村で検討中の中間支援組織の役割の中で、広域的な育成・確保の議論を深める必要があると考えています。今後も関係機関と連携し、県民の安全確保にしっかりと取り組みます。

資料 捕獲等に従事する猟友会会員に対する基本的保障の枠組

- 定義**
- ① 狩猟……狩猟期間に実施するもの(主に個人の趣味とする活動)
 - ② 有害捕獲……市町村が主体となる被害防止対策(主に鳥獣被害対策実施隊による活動)
 - ③ 緊急銃猟……市町村長が危険鳥獣の銃猟を捕獲者に委託して実施させるもの(鳥獣保護管理法34条に規定)

	① 狩猟(猟友会員)	② 有害捕獲	③ 緊急銃猟
保険料負担者	個人	市町村	市町村
対人	狩猟事故共済(※1)	鳥獣被害対策総合補償制度(※2)	×(想定されない。万が一起これば国家賠償)
対物	同上	同上	緊急銃猟時補償費用保険(※2)
自損	同上	同上	鳥獣被害対策総合補償制度(※2)

※1…大日本猟友会が運用。猟友会個人が加入するもので、山形県猟友会会員は必ず加入している ※2…東京海上日動が運用する民間保険



5 市町村職員相互交流・研修派遣の状況について

相田 県と市町村の連携強化には、形式的な交流に留まらず、職員のキャリア形成に資する育成目的の設定や、成果を適正に評価する人事体制の整備が不可欠です。長期的な組織文化の変革や広域課題の解決に向け、市町村職員の受け入れにおける効用と県の役割をどう考えるか伺います。

みらい企画創造部長 市町村との相互交流や研修派遣は、職員の資質向上と施策の効果的な展開を図る上で極めて重要です。今年度は「移住定住・人材確保の推進」や「大学公立化に向けた県との連携」と「医療提供体制の強化」など重点施策をテーマに設定し、県庁や総合支庁で専門的な知見を深める機会を提供しています。派遣元からは「県の経験が現場で生かされている」「交流後も情報交換しやすくなった」等の声を頂いており、県職員側も市町村の抱える課題を肌で感じる貴重な機会となっています。人口減少下で行政課題が複雑化する中、連携の土台となる信頼関係やネットワークの構築はますます重要です。今後も市町村の意見を丁寧にお聴きしながら、良好なコミュニケーションの醸成と職員の成長が図られるよう、積極的に取り組みます。

6 道路・河川の維持管理における機械の活用について

相田 豪雨による河川の形状変化や担い手不足により、従来のボランティア活動や手作業による維持管理が限界を迎えています。道路の安全確保も喫緊の課題である中、作業の安全性向上と負担軽減、効率化を図るため、高機能な作業機械や新技術の活用に関心を持って取り組むのか。

県土整備部長 河川や道路の維持管理において、県ではバックホウのアタッチメント式草刈機や高所作業車等を活用し効率化を図っています。一方、愛護活動団体の高齢化や事故のリスク、また保有機械の老朽化と更新費用の増大が課題となっています。今後は、ボランティア団体の皆様から現場のニーズを丁寧に伺い、支援のあり方を検討するとともに、除草の自動化技術や国等の最新の取組状況を注視し、新技術の導入について研究を進めます。道路や河川の維持管理は、県が責任をもって対応することが基本ですが、地域の皆様の協力は不可欠な大きな力であり、引き続きご意見を伺いながら、作業の安全確保と効率化に努め、良好なインフラ環境の保全にしっかりと取り組みます。

資料 維持管理に係る県所有機械と所有台数

道路	道路		維持作業車		路面清掃車	散水車	高所作業車	草刈装置
	パトロールカー	Wキャブ	ダンプ	ダンプ				
	21	11	13	8	8	1	13	
河川	草刈り機					粉砕機	河川ブル	
	バックホウアタッチメント式	搭乗式	肩掛け式					
	8	2	35	6	2			

※上記のほかに、維持修繕業者で機器をリースして草刈りなどの業務を行っている



7 農業系高校の魅力向上に向けた産業教育設備について

相田 農業のスマート化に対応する最新設備の導入を評価しつつも、DX人材の育成や経営感覚の醸成、環境配慮型農業の実践といった多角的な視点での設備整備は不可欠です。将来の農業経営者を育てるため、整備をどう進め、その魅力を中学生や保護者にどう伝えるか伺います。

教育長 本県の農業系高校4校は「DXハイスクール」に採択され、AIによる生育分析など最先端の学習を展開しています。また、他産業との連携による多角的な経営学習や、大学と連携した環境保全型の堆肥製造技術開発など、特色ある教育を行っています。今後も日進月歩の技術革新に合わせ、県による整備に加え、民間最新設備の活用にも取り組みます。さらに、道の駅との連携や他学科との交流を通じ、経営感覚や環境意識を育む学習を推進します。これらの先進的な取り組みをホームページやSNSで発信するとともに、高校生による小中学校への出前授業等を通じて、農業が夢と希望の持てる産業であることを伝えます。



8月 ■ やまがたフルーツ150周年記念「やまがたフルーツEXPO」

- 山形県神社関係者大会
- 第59回たかはた夏祭り **写真7**
- 宮城県議会交流議員連盟総会
- 置賜地区商工団体協議会懇談会
- 置賜地方農業委員会連絡協議会
- 置賜広域病院企業団議会 8月臨時会
- 食料・農業・地域政策推進 山形県要請集会 **写真8**
- 北海道・東北六県議会 議員研究交流大会 **写真9**



写真7

- 置賜地域奥羽新幹線整備・米沢一福島間トンネル整備実現同盟会総会
- 米坂線復活絆まつり

9月 ■ 高島高校関東同窓会 第3回危機管理委員会

- 置賜地方農業委員会連絡協議会
- 「安久津延年の舞」公開演舞
- 県議会9月定例会
- 高島消防団第一分団秋季消防演習
- 農林水産常任委員会 県内現地調査(庄内・最上) **写真10**



写真10

- 高島町総合防災訓練 **写真11**
- 予算特別委員会で質問 **写真12**



写真11



写真12

10月 ■ 山形新幹線米沢トンネル(仮称) 研修会

- 山形県農業・農村施策に関する意見交換会 **写真13**
- 置賜広域病院企業団議会10月定例会
- 鶴城高校開校記念式典
- 赤湯猟友会和田支部総会



写真13



写真8



写真9

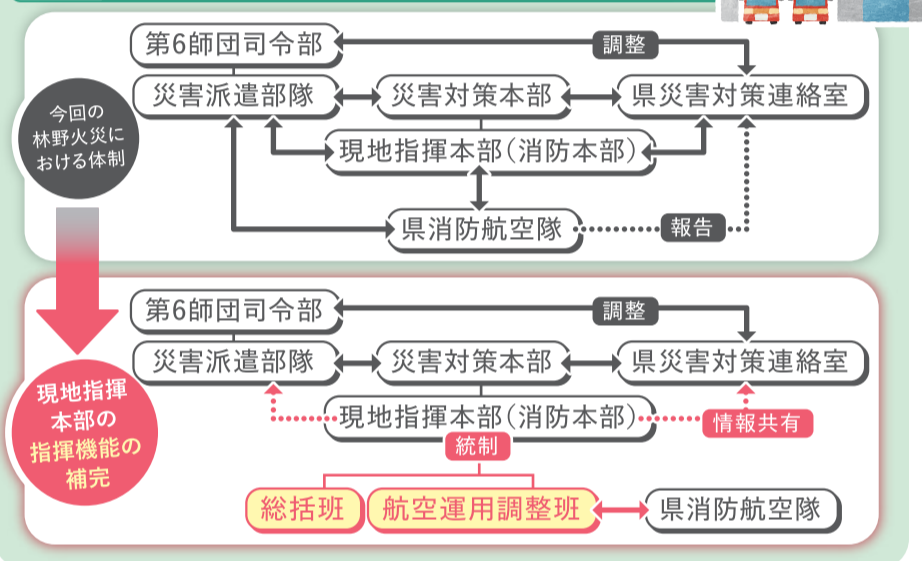


1 大規模林野火災への対応について

相田 令和6年の高島・南陽での火災を教訓に、自衛隊派遣の迅速化が進んだことを評価します。一方で、現場では応援要請への躊躇や疲弊が課題です。国の通知や現場の声を反映し、民間連携による水利確保や自衛隊の知見を活かした地上活動支援など、実効性ある体制強化をどう進めるのか伺います。

防災くらし安心部長 大規模火災の教訓を踏まえ、航空運用調整班の設置など体制を整えましたが、実効性確保には関係機関との連携習熟が不可欠です。このため、訓練を毎年2回に増やし、迅速な意思決定や情報共有に重点を置く内容に見直しました。訓練ではコンクリートミキサー車の活用や、映像共有システムによる現場情報の把握、自衛隊派遣要請までの手順確認を行っています。今後は消防長会での意見交換を通じ現場の声を把握するとともに、開催地を変えながら訓練を繰り返し、県、市町村、自衛隊等の連携を深めます。また、市町村へ資機材の整備や民間連携を働きかけ、地域ごとの火災防ぎょ訓練にも積極的に参画することで、県民の生命を守る「進化した防災体制」の構築にしっかりと取り組みます。

資料 現地指揮本部・災害本部との連携のあり方



2 災害時の通信確保に向けた取り組みについて

相田 通信の途絶は救える命の断絶に直結します。山間部が多い本県では、災害時の情報孤立を防ぐ通信基盤の確保が不可欠です。スターリンク等の衛星通信機器の運用体制や、ドローンを活用した臨時基地局など、先端技術を持つ通信事業者との連携による実効性ある対策をどう進めるのか伺います。

防災くらし安心部長 災害時の安定した通信確保は極めて重要であり、今年度、衛星通信機器「スターリンク」を導入し、冬期防災訓練等

で有効性を確認しました。また、既存の衛星携帯電話をネット接続可能な最新型へ更新し、通信性能の向上を図ります。国の無償貸与制度についても、昨年の大規模災害での活用事例を市町村へ周知し、積極的な利用を促しています。さらに、大規模な通信途絶に備え、携帯電話基地局機能を備えたドローンの活用を含め、通信事業者との災害時応援協定の締結に向けた調整を進めるなど連携を強化します。今後も実践的な訓練を重ね、多様な通信手段を速やかに活用できる体制を整え、安定した通信環境の確保にしっかりと取り組みます。

3 有害鳥獣捕獲従事者の負担軽減等について

相田 捕獲頭数が10年で4倍となる中、弾薬代は4年で2倍以上に高騰し、従事者の善意と自己負担は限界です。5年後には担い手が激減すると危惧感に対し、国を待たずに県独自の弾薬代補助や報酬増額といった「山形モデル」の支援を断行すべきです。技術継承と体制維持に向けた具体策を伺います。

環境エネルギー部長 出勤機会の増加と物価高騰による負担増を重く受け止めています。県では令和7年度から射撃訓練の支援を1万円に拡充し、経費の基となる市町村の報酬水準も適切に設定されるよう働きかけています。追加支援として、市街地周辺パトロールの危険性に見合う報酬設定を可能とする環境省交付金の新メニューや、農地周辺での活動を支える農林水産省の「クマ特別対策」の活用を市町村に促し、予算措置を講じています。さらに県独自に、国の交付金対象外である銃器購入や捕獲個体埋設地の賃借料等への支援も開始しました。担い手確保では、免許取得支援により会員数は増加傾向にあります。今後はベテランと若手がチームを組む春季捕獲の実施や支部への経費支援を通じ、技術継承と持続可能な捕獲体制の確保にしっかりと取り組みます。

資料 山形県版クマ被害対策パッケージ(主なもの)

知る 鳥獣の生息状況や被害の実態を把握するための調査・情報収集

守る 人の日常生活圏への侵入防止

捕る 鳥獣の個体数を適正に管理するため、過剰な個体を捕獲し、被害を軽減

体制 機動的・広域的に実施できる持続可能な被害防除体制の整備

① ツキノワグマ生息状況調査
② 出没情報の即時把握・県民への注意喚起
③ 人とクマのすみ分けの推進
④ クマ対策に係る専門家の派遣
⑤ 農作物の被害防止に関する支援
⑥ 市街地出沒対応
⑦ 春季捕獲の強化
⑧ 麻酔銃取扱者の配置の強化
⑨ 猟友会等への支援
⑩ 市町村と連携した「中間支援組織」の設置の検討
⑪ 市町村における捕獲実務者(ガバメントハンター)配置への支援

予算措置 428,455千円(一部)
新規事業は赤字で表記

- 亀岡地区公民館完成祝賀会
- 第73回山形県農林水産祭 写真14
- 特別委員会 県外調査(秋田) 写真15



- 高島町グラウンドゴルフ協会
- 置賜総合開発協議会行政懇談会
- 高島町建設クラブ 勉強会
- 高島町合同式典 写真16
- 生徒・学生と県議会議員との意見交換会 写真17



- # 11月
- 置賜広域病院企業団議会議員 行政視察研修(新潟)
 - 第72回山形県林材業年次大会
 - 第25回都道府県議会 議員研究交流大会
 - 高島混声合唱団第26回演奏会
 - 学園都市推進協議会
 - 第12回高島町社会福祉大会
 - 置賜地域議員協議会

- # 12月
- 県議会12月定例会 第一分団第一部「車上げ」
 - 米坂線等県内鉄道復旧整備実現議員連盟
 - 高島地区ぶどう若手生産者 意見交換会 写真18
 - 山形おきたま農業協同組合 懇親会



- # 2026年 1月
- 糠野目地区新春顔合わせ会
 - 屋代地区新春顔合わせ会
 - たかはた冬まつり わらじみこし鏡開き
 - 高島地区新春顔合わせ会
 - 高島町との懇談会・金融懇談会
 - 置賜広域病院企業団議会全員協議会
 - 高島町消防出初式 写真19
 - 高島町新春の集い 写真20
 - 高島町消防団 受賞報告会 写真21



4 ツキノワグマの生息状況調査について

相田 推計生息数の減少と、過去最多を記録した目撃件数との乖離は深刻です。目視からカメラ調査による「増減トレンド把握」への転換を、単なる統計の見直しに留めず、いかに実効的な捕獲の強弱判断や生活圏の防御に繋げるのか。県民の安全を担保する具体的な運用基準と併せて伺います。

環境エネルギー部長 これまでの目視による個体数推計は、近年の少雪や広域的な移動により、出没実態との乖離が生じていました。そのため今年度より、県内3地域・計93地点に自動撮影カメラを設置し、科学的データに基づく増減傾向の把握を開始しました。地域ごとに増加傾向と判断される場合には、春季捕獲の強化等により捕獲圧を高めるとともに、不要果樹の伐採や藪払いなどの防御策を前倒しで講じます。運用の検討にあたっては、現場が迷いなく対策を行えるよう、市町村や猟友会の意見を十分に反映させます。また、広域的な個体数推計については、県の要望により環境省が全国統一的手法で実施することが決定しました。今後は国や専門家と緊密に連携し、調査結果を次期管理計画や具体的な捕獲運用に的確に反映させ、県民の安全・安心の確保に努めます。

5 地域資源の継承を通じた持続可能な観光地域づくりの確立に向けた取り組みについて

相田 ナショナルジオグラフィック選出を好機とし、本県の精神性を守るべきです。予算・人材不足で衰退する歴史遺産に対し、県がハブとなり、保存と活用が循環する「収益モデルの確立」、自治体の枠を超えた「広域連携」、補助金活用等の「伴走型支援」をどう展開し、100年先も輝く観光地域を築くのか伺います。

観光文化スポーツ部長 本県の文化財は「本物の価値」に触れる目的地であり、滞在の付加価値を高める重要資源です。県では、パトロールを通じた実態把握と緊急度に応じた保存修理を進めるとともに、入域協力金やクラウドファンディングなど、収益を保存に還元する新たな財源確保の事例を参考に、活用策を模索しています。また、日本遺産のストーリー化やガイド育成により広域周遊を促すとともに、令和8年度はDMO等と連携した外国人向けコンテンツ造成や情報発信に注力します。文化財の継承には地域一体の取り組みが不可欠です。今後も市町村への補助制度周知や外部資金活用の助言など伴走型支援を徹底し、地域資源の継承を通じた持続可能な観光地域の確立に全力を尽くします。

「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に山形県が選出!

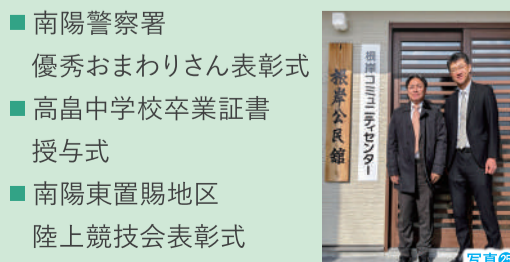
ナショナルジオグラフィック
米有カメディア『National Geographic』にて、「2026年に行くべき世界の旅行先25選 (Best of the World2026)」に、山形県が国内で唯一選出。
山形県は、東京から300kmほどの距離にも関わらず、別世界のような静けさを保つ場所であり、日本の旅行者もまだ多くが訪れていない聖なる山々、静寂に包まれる寺社、フォトジェニックな温泉、四季を通じて各地で開催される伝統的な祭りなど、混雑を避けて、通年で、古くからの伝統と神秘的なアウトドア体験ができる点が評価されました。



- 県議会2月定例会 **写真23**
- 第35回ひろすけ童話感想文・感想画表彰式 **写真24**



- 3月
- 高島高校卒業証書授与式 **写真25**
- 根岸公民館完成祝賀会 **写真26**



- 南陽警察署 優秀おまわりさん表彰式
- 高島中学校卒業証書授与式
- 南陽東置賜地区 陸上競技会表彰式

6 有機農業の推進について

相田 故・星寛治氏の志を継ぎ、本県が「有機農業の里」として主導権を発揮すべきです。新計画に掲げた令和10年度の面積目標達成に向け、アイガモロボット等の新技術導入や「有機農業実践講座」による担い手育成をどう加速させるのか。生産と消費を結ぶ販路拡大の戦略と併せて伺います。

農林水産部長 本県の有機農業取組面積は全国4位と上位にあり、令和10年度までに現在の1.4倍となる1,022ヘクタールへの拡大を目指します。具体的には、県内4箇所の「オープンフィールド」を拠点にアイガモロボット等の新技術を実証するとともに、「有機農業の匠」による実習や、東北農林専門職大学での実践講座を通じ、知識と技術を兼ね備えた人材を早期に育成します。販路拡大に向けては、マルシェや飲食店への食材提供を通じ、環境負荷低減という価値への理解を深め、適正価格で取引される環境を整えます。また、SNS等を活用した情報発信で購買意欲を高めるとともに、高島町を含む「オーガニックビレッジ」宣言市町との連携を強化し、有機農業が地域に定着し広がるよう全力で取り組みます。

7 教職員の不祥事防止に向けた取り組みについて

相田 教職員は「全体の奉仕者」として高い倫理観が求められますが、不祥事が絶えない現状を猛省すべきです。ICT機器の悪用や非正規職員による事案など、不祥事の態様が変化中、形式的な研修に留まらず、教員の心に届き行動変容を促す「新たな不祥事防止策」をどう展開するのか、教育長の決意を伺います。

教育長 不祥事は教育への信頼を根底から覆すものであり、個々の規範意識の醸成と同僚性の向上が不可欠です。現在、ワークショップ型研修や多忙感解消に向けた働き方改革、管理職のマネジメント強化を推進しています。近年のデジタル機器悪化に対しては、ICT活用ハンドブックを見直し、私物機器の使用禁止やデータの適正管理を徹底しました。警察と連携した盗撮防止研修や、校内での無作為な場所点検も実施しています。また、非常勤職員に対しても、採用面接での適性確認や、勤務形態に応じた個別の服務指導を工夫して行っています。今後も他県の先進事例を柔軟に取り入れ、時代に即した実効性の高い取り組みにより、信頼される学校教育の実現に努めます。

資料 県教育委員会における懲戒処分の状況 データは令和7年12月31日時点

	免職	停職	減給	戒告	計	処分の主な内容
令和4年度	3	2	6	4	15	免職：盗撮、飲酒運転 停職：無免許運転、事務懈怠 減給：脅迫、誹謗中傷、不法投棄 戒告：人身加害事故、暴走運転
令和5年度	5	2	4(2)	7(1)	18(3)	免職：飲酒運転、わいせつ行為 停職：セクハラ、無免許運転 減給：人身加害事故 戒告：人身加害事故、暴走運転
令和6年度	4	3	1(2)	8(2)	16(4)	免職：盗撮、学校徴収金の着服、飲酒運転 停職：盗撮、セクハラ、事務懈怠 減給：人身加害事故 戒告：体罰、人身加害事故、暴走運転

※()は管理監督責任に係る懲戒処分を外数 ※事務局職員を除く

- 2月
- 高島町料理飲食振興会 新年会
- 高島青年会議所 新春交換会

- 置賜広域病院企業団議会 議会運営委員会
- 置賜広域病院企業団議会 2月定例会
- 高島機械工業クラブ 新年会
- 昭和縁結び通り 新年会
- 第25回まほろば冬咲きぼたんまつり **写真27**

- 山形県パン協同組合 新年会
- 山形県交通安全対策協議会委員会
- 高島町経営者協会 新春講演会・懇談会
- 米沢キングダムユースポニー 発足式
- 赤湯猟友会 通常総会



- 4月
- 地区委員委嘱式 **写真28**
- 高島高校入学式

- 高島小学校入学式
- 高島中学校入学式
- 第6師団創隊64周年・神町駐屯地創立70周年記念行事 **写真29**
- 二井宿わくわくプロジェクト定期総会
- 高島町管工事組合総会
- 高島町春季消防演習 **写真30**
- 高島町グラウンドゴルフ協会総会
- 高島町成人式 **写真31**
- 高島町商工会女性部通常総会 **写真32**





道路整備・環境改善

舗装補修工事 県道1号線(米沢高島線)



舗装補修工事 県道7号線(高島川西線)



国道399号 雨水樹土砂撤去



県道1号線(米沢高島線)・
県道7号線(高島川西線)の排雪作業



河川整備

緊急クマ出没抑制河川刈払い事業

屋代川:二井宿(静田橋を中心に上下流)



河川流下能力確保対策 屋代川:石ヶ森橋



河川管理用道路 整備 砂川・土会川の堤防道路の支障木伐採



河川流下能力確保対策(支障木伐採)

- ▶屋代川:深沼～高島(八坂橋～中橋)
高島～安久津(中橋～東橋)
- ▶下有無川:安久津
(屋代川の合流点～鳥居橋)
- ▶砂川:下和田～元和田
(折石橋の上流)
- ▶土会川:佐沢(宮田橋～南佐沢橋)



自治区
公民館
整備

この助成事業の
詳細はこちら



根岸公民館改築に伴うコミュニティ助成事業活用



事務所のご案内



令和8年度より所属委員会が変わります

- 農林水産常任委員会(委員長)
- 再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策特別委員会
- 広報・広聴委員会
- デジタル化推進会議
- 危機管理委員会

- 文教公安常任委員会(副委員長)
- 持続可能なインフラ・安全安心なまちづくり対策特別委員会
- デジタル化推進会議
- 危機管理委員会

ぜひ
皆様のご意見
をお寄せください

最新の活動情報 発信中!

公式ホームページ・各種SNSもチェック

▶ www.aita-hideo.jp



相田ひでお事務所

〒992-0351 山形県東置賜郡高島町大字高島156-2

TEL 0238-33-6699

FAX 0238-33-0039

Mail info@aita-hideo.jp